

### 資料 3

平成 29 年 11 月 22 日(水)  
久留米市在宅医療・介護連携推進協議会

## 久留米市民の終末期医療に関する調査結果について

### 1. 久留米市民の終末期医療に関する調査結果

平成 28 年度久留米市民意識調査より

**療養生活を送り最期を迎えたい場所は「居宅」が46.5%で最も高くなっています。**

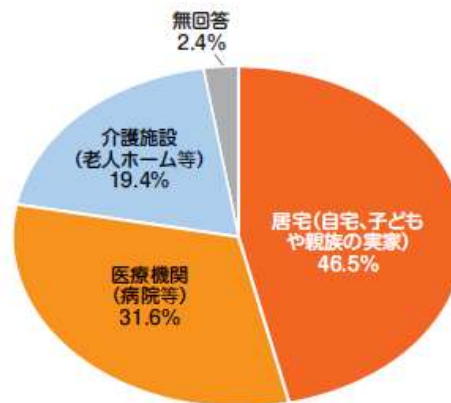
病気などで治る見込みがない状態になった場合に、療養生活を送り最期を迎えたい場所をたずねたところ、「居宅」が46.5%で最も高く、「医療機関」は31.6%、「介護施設」は19.4%でした。

性別にみると、男性は「居宅」が女性より8.2ポイント高く、「介護施設」が6ポイント低くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるほど「居宅」は低くなり、「医療機関」「介護施設」が高くなる傾向にあります。

#### 最期を迎えたい場所

N=1,764



**安心して居宅で療養し、最期を迎えられると思う人は12.8%。**

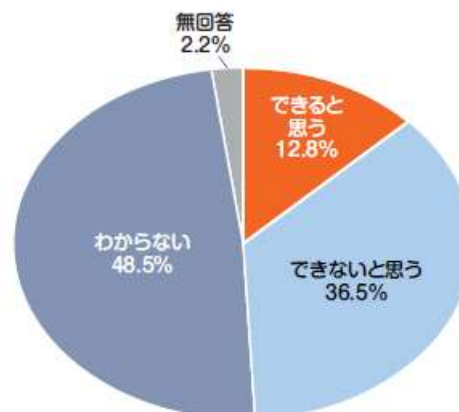
自身や同居の人が人生の最終段階を迎えた場合に、安心して居宅で療養し、最期を迎えることができると思うかをたずねたところ、「できると思う」が12.8%、「できないと思う」が36.5%で、「わからない」が48.5%でした。

性別・年齢別にみると、男性は60歳代で、女性は50歳以上で「できないと思う」が他の年齢層より高く、男女とも40歳代以下では「わからない」が5割を超えています。

「できない」「わからない」と答えた理由では、「介護する家族に負担がかかる」が66.2%で最も高く、家族状況別で単身の人では「介護できる家族がない」が最も高くなっています。

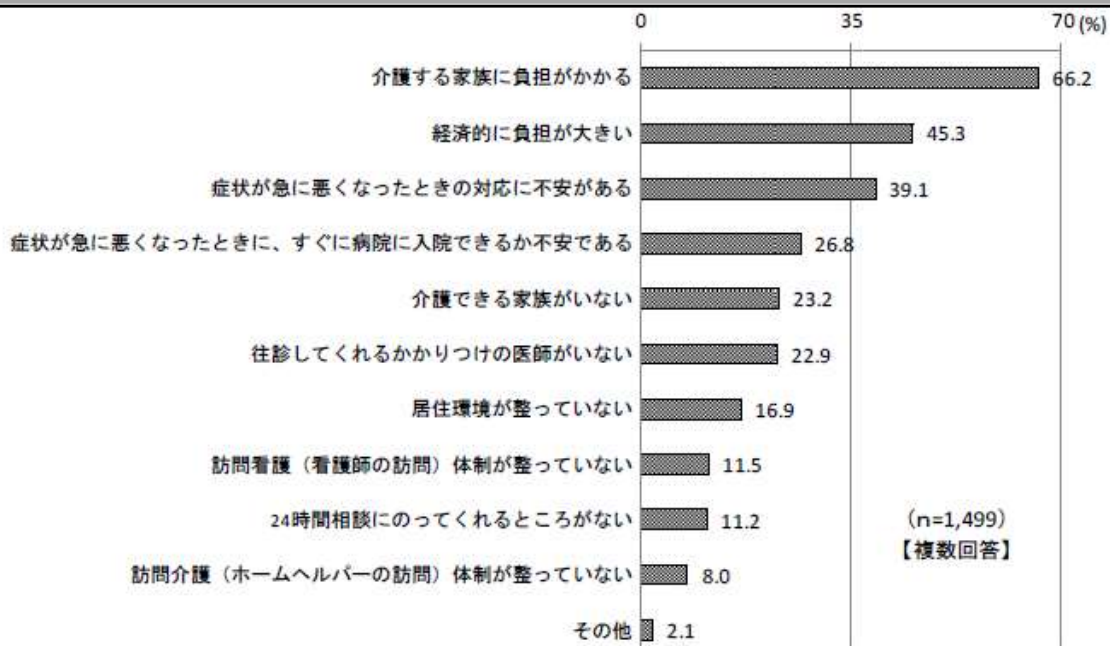
#### 居宅で最期を迎えられるか

N=1,764



## 「できない・わからない」と答えた理由

「介護する家族に負担がかかる」が66.2%で1位。  
 単身者では「介護できる家族がない」が47.4%で最も高い。



## 2. 久留米市民の終末期在宅療養の実現可能性の認識とその関連要因

平成24年度 地域住民における終末期在宅療養の実現可能性の認識とその関連要因： 地方中核都市と郡部での検討より

在宅療養を支援する医療機関があると思う者は、終末期在宅療養を実現可能と認識する傾向があった。

		久留米市 (n= 620)		p
		実現可能群 (n= 117)	実現不可能 ・不明群 (n= 503)	
<b>在宅療養支援サービスの認識</b>				
自宅で療養する際に、気軽に相談できる所がある	そう思う	58 (49.6)	120 (23.9)	.000 <sup>a</sup>
自宅で療養することを支援する病院や診療所がある	そう思う	64 (54.7)	112 (22.3)	.000 <sup>a</sup>
自宅に往診してくれる医師がいる	そう思う	62 (53.0)	120 (23.9)	.000 <sup>a</sup>
日中に看護師やヘルパーが自宅に訪問してくれるサービスがある	そう思う	78 (66.7)	245 (48.7)	.000 <sup>a</sup>
夜間、早朝に看護師やヘルパーが自宅に訪問してくれるサービスがある	そう思う	40 (34.2)	85 (16.9)	.000 <sup>a</sup>
24時間、電話一本で看護師が自宅に訪問してくれるサービスがある	そう思う	20 (17.1)	46 (9.1)	.014 <sup>a</sup>
介護が必要な人が、朝から夕方まで過ごせる施設がある	そう思う	63 (53.8)	224 (44.5)	.050 <sup>a</sup>
介護者に急な用事ができた場合などに、介護が必要な人が一時的に過ごせる施設がある	そう思う	56 (47.9)	154 (30.6)	.000 <sup>a</sup>

欠損は除く。表中の値はn (%)もしくはMean (SD)を示す。  
 a  $\chi^2$ 検定 b 対応のないt検定 c Fisherの直接確率検定

終末期の医療費は自宅の方が病院より高いと思う者ほど、終末期在宅療養を実現可能と認識しない傾向があった。

		久留米市 (n= 620)		p
		実現可能群 (n= 117)	実現不可能 ・不明群 (n= 503)	
<b>終末期在宅療養に関する認識</b>				
自宅で死を迎えさせることは、家族が十分な医療を与えていないことになる	そう思う	2 (1.7)	28 (5.6)	.083 <sup>a</sup>
診療所より大きな病院の方が質の高い医療を受けられる	そう思う	37 (31.6)	184 (36.6)	.338 <sup>a</sup>
自宅での看取りは、良いイメージがある	そう思う	39 (33.3)	146 (29.0)	.337 <sup>a</sup>
終末期に自宅で医療を受けると、病院で医療を受けるよりも費用が多くかかる	そう思う	19 (16.2)	<b>152 (30.2)</b>	.002 <sup>a</sup>
医師は、終末期医療や死について患者や家族と話すことを快く思わない	そう思う	7 (6.0)	57 (11.3)	.086 <sup>a</sup>
欠損は除く、表中の値はn (%)もしくはMean (SD)を示す。				
a $\chi^2$ 検定 b 対応のないt検定 c Fisherの直接確率検定				

